

第1章

- ・2頁 学習目標 2. 1行目

(誤) 大学では

(正) 大学での学びは

- ・3頁 下から3行目

(誤) 高校は教育するのが

(正) 高校は教育をするのが

- ・5頁 『●学びの環境とは』2行目から3行目にかけて

(誤) どのような机やいすで

(正) どのような机や椅子で

※199頁「椅子」と表記を合わせる

- ・9頁 『学ぶ側-佐藤さんの場合』2段落目の2行目

(誤) 大学の学びは違うのだ

(正) 大学での学びは違うのだ

第3章

- ・23頁 『●これまでの学びを振り返る』下から4行目

(誤) みなさんはどちらの学習観に近いですか。

(正) みなさんはどちらの学習観の志向に近いですか。

- ・25頁 『●読むということ』5段落目の2行目から3行目にかけて

(誤) これからどんな展開になっていくのだろう、次に何が来るのかを

(正) これからどんな展開になっていくのだろうと、次に何が来るのかを

- ・27頁 『●見るということ、聞くということ』最終行

(誤) 何をすべきか書き出してみましよう。

(正) 何をすべきかを書き出してみましよう。

- ・ 27 頁 『●3つの活動に共通すること』下から 2 行目
(誤) 次に何が来るのか予測する
(正) 次に何が来るのかを予測する

- ・ 28 頁 『●書くということ』下から 4 行目から 3 行目にかけて
(誤) 何かと関係ありそうだ
(正) 何かと関係がありそうだ

- ・ 30 頁 『学ぶ側-佐藤さんの場合』下から 4 行目
(誤) これを大学の授業でもやってみたら
(正) そこで、意識的な振り返りを大学の授業でもやってみたら

- ・ 30 頁 『教える側-高橋君の場合』2 段落目の 2 行目
(誤) 何かと関係ありそうだ
(正) 何かと関係がありそうだ

第 16 章

- ・ 171 頁 『●日本の近未来』5 行目から 6 行目にかけて
(誤) この先の 10 年はさらに
(正) この先の 10 年ではさらに

- ・ 171 頁 『●日本の近未来』下から 2 行目
(誤) 現役世代 (15~64 歳) 2.3 人でした。
(正) 現役世代 (15~64 歳) は 2.3 人でした。

- ・ 177 頁 『●モノづくりを通じた学習』最終行
(誤) といわれているデザイン分野などに
(正) といわれてきたデザイン分野などに

・180頁 練習1.

(誤) 高齢者人口の推移予測(図16-1)と平均寿命の推移予測(図16-2)に自分自身の年齢を書き加えて、いつ頃にどんな状況になりそうかを想像してみましょう。自分自身の人生にどう影響するかだけでなく、自分の子どもや孫の世代への影響についても考えて、思ったことを自由に書いてみましょう。

(正) 以下の表は、国立社会保障・人口問題研究所による日本の将来推計人口(平成29年推計)をもとに作成した高齢者世代人口と現役世代人口の比率および男女別平均寿命です。自分自身の年齢を書き加えて、いつ頃にどんな状況になりそうかを想像してみましょう。自分自身の人生にどう影響するかだけでなく、自分の子どもや孫の世代への影響についても考えて、思ったことを自由に書いてみましょう。

・180頁 練習1. の表

(誤)

西暦	2020	2025	2030	2040	2050	2060	2065
自分の年齢							
高齢者人口							
平均寿命(男)							
平均寿命(女)							
自分自身の人生への影響(子ども・孫への影響)							
その他の気づき							

(正)

西暦	2025	2035	2045	2060	2070	2080	2100
自分の年齢							
高齢世代対現役世代人口比率	1.9	1.7	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3
平均寿命(男)	82.1	83.4	84.7	86.6	87.8	88.9	90.7
平均寿命(女)	88.6	89.9	91.2	93.0	94.2	95.4	97.1
自分自身の人生への影響(子ども・孫への影響)							
その他の気づき							

・181頁 フィードバックの表

(誤)

西暦	2020	2025	2030	2040	2050	2060	2065
自分の年齢	21歳	26歳	31歳	41歳	51歳	61歳	66歳
高齢者人口	3,619万	3,677万	3,716万	3,921万	3,841万	3,540万	3,381万
平均寿命 (男)	81	81	82	83	84	84	84
平均寿命 (女)	87	88	88	89	90	91	91
自分自身の人生への影響(子ども・孫への影響)	入学のときに、100歳まで生きるのかと聞いて驚いた。自分は70歳になっても働いて税金を払わないと、全国にいる高齢の老人や子どもたちを養うことはできないと思う。自分が働けなくなっても生きていける蓄えは必要だと思う。						
その他の気づき	これから人工知能やロボットに置き換わらない能力を身につけ、自分からいろいろな新しい考え方ができるようになって、新しい仕組みをつくる側の仕事に就きたい。						

(正)

西暦	2025	2035	2045	2060	2070	2080	2100
自分の年齢	25歳	35歳	45歳	60歳	70歳	80歳	100歳
高齢世代対現役世代人口比率	1.9	1.7	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3
平均寿命 (男)	82.1	83.4	84.7	86.6	87.8	88.9	90.7
平均寿命 (女)	88.6	89.9	91.2	93.0	94.2	95.4	97.1
自分自身の人生への影響(子ども・孫への影響)	入学のときに、100歳まで生きるのかと聞いて驚いた。自分は70歳になっても働いて税金を払わないと、全国にいる高齢の老人や子どもたちを養うことはできないと思う。自分が働けなくなっても生きていける蓄えは必要だと思う。						
その他の気づき	これから人工知能やロボットに置き換わらない能力を身につけ、自分からいろいろな新しい考え方ができるようになって、新しい仕組みをつくる側の仕事に就きたい。						

第18章

・192頁 学習目標 2. 1行目

(誤) 新たに学習に取り組みを始める際に、

(正) 新たに学習に取り組み始める際に、

・193頁『●なぜ自己調整学習なのか』3段落目の3行目

(誤) 急速に少子高齢化が進んできているので、

(正) 急速に少子高齢化が進み、

・ 196 頁『●学習方略』下から 4 行目

(誤) 他者に助けをもらおうと援助を得ようとすることや,

(正) 他者から援助を得ようとすることや,

以上です